

# 大妻同窓会 広島世羅だより

第7号  
発行責任者 伊藤妙子

## 大妻同窓会 広島世羅 会長挨拶

会員の皆様、今日は！お元気でお過ごしでしょうか。「会報6号」の発行から早1年が過ぎようとしています。この間、皆様に嬉しいニュースをお伝え出来ることを大変喜んでいるところです。実は4月28日の「中国新聞」に載った「春の優章県内から8人」の中に前会長の植野邦子さんの名前が含まれていたことでした。ご覧下さったことと思いますー元民生・児童委員としての細やかな取り組み・活動が評価され「藍綬（公共の利益に貢献）」を受けられました。本当に嬉しい限りです。会員一同、心よりお祝い申し上げますとともに、今後とも、益々のご活躍をお祈り申し上げます。嬉しいことのある一方で、相次ぐ事故や災害に心を痛める昨今でもあります。社会のひずみや自然の猛威の前に被害を防ぐための最大限の人事を尽くしたいものです。会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。



代表 伊藤妙子

## 支部総会に参加して

今年は例年なく季節が早足にやって来て、野山の草花も先を急ぐように、競い合って花を咲かせました。そんな1年で一番良い季節に、広島世羅支部総会は、文学の町、尾道で開催されました。大妻記念会会長の井上小百合先生のメッセージの紹介で始まり、「コタカ先生生誕130年記念祭」のDVDの視聴もありました。卒業年度は異なっても、大妻同窓生という誇りは、皆様一緒に、とても和やかな雰囲気の中で会は進みました。総会終了後は、尾道水道を遊覧船で、千光寺を背に向島の観光をして、瀬戸内の春を満喫しました。来年の広島での再会を楽しみに終了いたしました。

徳井清子



平成27年4月26日（日）グリーンヒル尾道2階シャンブル

尾道水道を遊覧船で観光

## 春の褒章で藍綬を植野邦子さん受章

植野さんは東広島市安芸津町木谷に在住され、元民生委員、児童委員、大妻同窓会広島支部の代表をされておりました。ご主人は自治協議会々長、邦子さん自身は福祉活動のリーダーとして、日々楽しく活動されております。根本には、精神は大妻先生の教えがしっかりと受け継がれていると思います。“困りごとの解決に奔走”（1）母子家庭の子育て支援（2）お年寄りの見守り（一人暮らしの方へのお手伝い）など。現在は、昨年民生委員を退かれ、自宅でサロンを開き、高齢者や子供たちが集まり、おしゃべりや勉強、手芸や料理作りをして、明るく楽しくを実行されております。長年のご功績が認められ、今回の受章となられました。大変喜ばしいことです。

山中美也子



## お茶の間サロン

安芸津町木谷地区でお茶の間サロン活動が始まりました。地区の関わりが希薄になる中でお互いに気に掛け合い、暮らしの困りごとを相談できる温かい関わりを作ることが目的です。主な内容は、夏休み・冬休み・春休み子供教室と誰でも立ち寄れるカフェ。毎週月曜日にオープンします。子供たちも宿題をしながらカフェで両親の帰りを待つことができます。主催は木谷自治協議会。活動の主な扱い手は植野邦子さんです。木谷小学校は全校児童は60人の小さな学校ですが、学力は市内トップクラスの実力です。地域ぐるみで子供たちを育み、親御さんを支援しています。中でも植野さんの得意技は一人ひとりの「輝く」を引き出し、役割を作り、居場所を作ること。高齢者だけでなく若い世代が「住みたい」と思える具体的な取り組みが、お茶の間サロンを通して今、始まろうとしています。

東広島市社会福祉協議会安芸津支所長  
原田敦子



勉強後のそうめん流し（平成27年8月24日）

## 広島の大規模土砂災害のその後

（平成26年8月19日被災）

1年経過した現在、集計すると75名死亡4700棟が被災され、ダム建設などで復旧が進んでいる中、184世帯が公営住宅などで生活されていると聞いております。不幸にも死亡された方々のご冥福と、被災者の方々の1日も早い復興をお祈りしております。日本は小さい島国です。毎年夏の豪雨、台風、火山などの自然災害にあります。その中でもめげないで立ち上がり、生きていかなければなりません。わたくしの住んでいる町内会の女性会で赤十字、消防士の方々に来ていただきて日頃から気を付けておかなければならぬ事などを勉強させていただきました。いつ起きるかわからない、災害にあった時を想定し、命と健康を守るために日ごろから、みんなで話し合って、近所の人達にも声掛けをし自助、共助で、素早く行動できるようにと。勉強させていただいております。

山中美也子



被災直後（平成26年8月22日）



復旧状況（平成27年6月10日）



災害から1年の八木三丁目  
(平成27年8月20日)

可部東六丁目

## 大妻コタカ先生生誕130年記念植樹

平成26年11月1日大妻コタカ先生生誕130年を記念して、三川ダム湖畔「ごもくめし」のそばに植樹したサルスベリの木が、大きく成長し皆様のお越しをお待ちしているように見えます。



大妻コタカ先生生誕130年記念植樹（平成26年11月1日）

## 平成27年度支部会活動報告

暑かった夏もやっと一段落。支部だより編集のため、6名の会員が集いました。昼食のお弁当作りを楽しみました。世羅特産の幸水梨をご持参いただき、その瑞々しく甘い味に幸せを感じつつご馳走様でした。

松岡千枝子



秋の深まりを感じる10月2日6名が集い役員会を終え東光寺に場所を移動し、飢えを凌ぐために、禅僧が温めた石を懷に入れたと言う逸話がある懐石の勉強を致しました。終わりに美味しい季節のお菓子と抹茶を頂きました。

奥本英美枝



# 『輝く女性 応援！頬山陽を愛した女流画人平田玉蘊』展

平成27年秋の企画展 『輝く女性 応援！頬山陽を愛した女流画人平田玉蘊』展が広島県立博物館で開催されました。その終章で近代に輝く広島の女性として京都女子大学を創立した甲斐和里子、女流作家の林英美子、カモメの水兵さんを作詞した童謡作家の武内俊子と共に大妻コタカ先生が下記のように紹介されていました。

「夫の大妻良馬とともに大正5年大妻技芸伝習所 翌年私立大妻技芸学校開校 大正8年高等女学校（現在の大妻女子大）に発展。大正11年日本初の女性勤労学生の為に大妻中学夜学校を設立など戦前戦後を通じて女子教育振興に尽力した」

## 頬山陽を愛した女流画人 平田玉蘊 Hirata GYOKUON



### 終章

#### 近代に輝くひろしまの女性

近代に入って、社会の仕組みが大きく変化する中、女子教育や文学など、さまざまなジャンルで女性の活躍がありました。

その中で、大妻コタカ、林英美子など広島県とゆかりの深い人物をとりあげ、パネル展示を行います。



20 大妻コタカ肖像



21 林英美子肖像

20 今の広島県世羅郡世羅町に生まれる。東京に大妻技芸伝習所(現 大妻女子大学)を創設し、戦前・戦後の女子教育の振興に尽力した。

21 今の福岡県北九州市に生まれる。尾道市立高等女学校在学中に文学の道に進み、卒業後に上京して書いた『放浪記』が代表作。

### おしらせ

年会費 東京への振り込み（2000円） 支部（1000円）の会費を下記へよろしくお願い致します。  
(会計年度4月1日～3月31日)

### 平成28年度広島世羅総会の予定

平成28年度の広島世羅総会は平成28年7月3日（日）広島市内で開催の予定です。皆様お誘い合わせのうえ是非出席くださいませ。お待ち申し上げております。

場所 場所については広島市内で検討中  
日時 平成28年7月3日（日）

### 編集後記

原稿依頼を快く受けて下さいました会長様はじめ、多くの皆様のご協力のお陰で無事第7号を発行することができました。沢山の原稿をお寄せ頂き感謝申し上げます。

越智 法子



広島城